

# たかす社協だより

第22号(秋・冬編)  
令和6年 12月15日発行  
高須地区社会福祉協議会  
発行責任者 香月 英彦

## ひとにやさしいまちづくり・「孤立化」を防ぎつながりづくりを!!

日本では、来年2025年に団塊の世代が後期高齢者となり、少子高齢社会のピークです。とくに一人暮らしの高齢世帯は2050年には1000万人、20%超となり(人口問題研究所試算)、少子化、未婚化もあり、家族コミュニティのあり方や介護・医療・災害対応などに「孤立化」が課題です。

高須地区(人口8300人高齢化率36.4%)でもこうした傾向が顕著です。高須地区社会福祉協議会も「たかすの共生社会づくり=ひとにやさしいまちづくり」をテーマに、皆様と一緒に日々の生活支援を実践しながら、福祉諸事業を進めてまいります。  
(高須社協会長 香月英彦)

### 地域の皆さんで見守り

#### 認知症にやさしいまちづくり

2016年から継続している「認知症行方不明者捜索模擬訓練」の一環として「第9回たかす認知症理解のための集い」を11月2日開催。

#### ①【認知症の現況】

(末吉脳神経外科医院長)

認知症の原因物質アミロイドβに対する新薬(レカネマブ)やタウに対する核酸など開発が進む。右記の14のリスクが回避されれば45%予防という報告書を英医学書が公表

高齢期では、社会的孤立、大気汚染、治療しない視力低下を指摘。

認知症に負けないよう頑張りましょう!!と伝えられた



#### ②【寸劇模擬訓練】(若松区社協さん他)

迷い人に目線を合わせ親切に~認知症の方が迷い困っている様子の時、的確な声かけや対応のしかたを実演で示してもらった。

#### ③【スマホでSOS体制】(坂本北九州市立大准教授)

オープンチャットによる写真・位置情報で「迷い人」を捜索・発見するつながりづくりを指導していただきました。高須社協QRコード(現在97名登録)を読み込み、地域の皆さんで見守りましょう。希望者は登録できます。



連絡ください。(報告:香月 090-8838-9314)

### 高須小学校子どもレスキュー隊(5年生) マリーゴールドを花壇に植樹

高須小学校5年生43名は、6月11日に「道に迷ったおじいさんやおばあさんを、身近な大人やお店に連絡しよう」と、「子どもレスキュー隊講座」を受講しました。6月24日には、地域のかたと一緒に、校庭に「マリーゴールドの花」を植樹し「マリーゴールドの花壇」として、認知症の方の見守りへの思いを表しました。



こどもレスキュー隊が身につける「オレンジリング」にちなんで、オレンジのマリーゴールドを選びました。



これからも、地域の皆さんと子どもたちへもつながって、高須地域を「誰もが安心して幸せに過ごせる地域」にしていきたいと思います。

★高須中学校で令和7年2月3日「認知症サポーター養成講座」を、北九州市認介センターと共催で地域の皆さんにも参加していただき開催します。皆様のご協力をお願いします。

☆高須中学校吹奏楽部が令和6年11月の全国マーチングバンド大会で「金賞」受賞!

第23回年長者のおまつりでも演奏して頂きました。おめでとうございます。

## 見守り活動でのつながりの輪

「地域生活支援相談員」は、様々なお困りごとを抱えた人々に対応するため、行政や地域の応援タイ・専門機関につなぐお手伝いをしています。いつでも、ご相談ください

地域生活支援相談員 山本直子・香月利都子

2025年、4人に1人が後期高齢者となり超高齢社会を迎えることになります。高須の中でも65歳以上の高齢者が過半数を占めているような地域もあり、その中には認知症の方も増え、家族が突然所在不明になったので探すお手伝いをしてほしいと連絡を受け、すぐに駆けつけ警察や地域の方の協力で無事に保護することができました。父親が病気で入院して、残された母親の認知症状があり、見守ってほしいと遠くで暮らす息子さんからの相談や自宅での介護の不安、1人で大変だと訴える方等、相談内容が多岐にわたって、深刻さも増えています。



こうした中、行政や民生委員・福祉協力員・応援タイとのマッチングだけではなく、近隣住民同士が普段の生活の中で、ちょっとした周りの変化に気づき、お互い見守る関係性を築くことで、困りごとを抱えた人々が孤立する事なく、地域で支え合って、生活できる、そうした地域全体の見守り活動が重要だと思います。



いつまでも盛旬!講座(社協・市民センター共催)

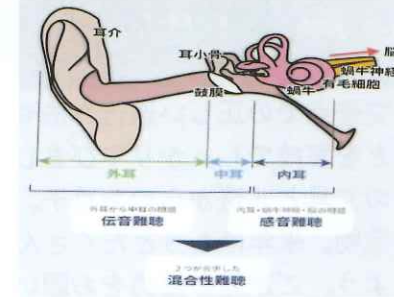
#### 「難聴はフレイルの危機!」(7/10)

地元の北尾耳鼻咽喉科医院長、北尾健二郎先生から、「難聴」がフレイル、認知症、生活習慣病などの引き金になるので注意!など耳の基本から予防・対策と社会生活までの指導がありました。(86名参加)

難聴には、伝音(外耳)感音(内耳)と混合性があり補聴器を(メガネのような即効性と違い、聞こえにくくなり始めたら早めに使い始め、耳になれさせ脳神経をよび起こす努力が必要)適正に使いましょう。また75歳以上では聞こえにくい人が75%となり、認知症の引き金になるので注意!糖尿病、高血圧、騒音、喫煙、飲酒などが悪化要因。難聴、フレイル、サルコペニアは、互いに関連、悪循環。

早期発見・早期治療と生活習慣の改善が肝要ということでした。

(報告:香月)



### 「たかすちょこっと応援タイ」の様子



◎ちょっとしたお困りごとのご相談や問い合わせは、お気軽に、ご相談ください

★相談受付場所:高須市民センター2階

★相談受付時間帯:「月・水・木・金」  
12時30分~16時30分

★電話: 080-8353-1673  
(担当:山本・香月利)

(緊急連絡は高須地区社協へ!)  
090-8838-9314(香月英彦)

### 《視察研修》6/7

暁の鐘学園&北九州学術研究都市

#### 「スマートライフケア共創工房」を訪問

① 2023.夏に青葉台に開設された高須・青葉台地区などとの地域の子育てを視野にいたれた児童養護施設「暁の鐘学園」を訪問し、活動内容を聞いたり施設の見学を行いました。従来型の養護施設を超えた地域の不登校、発達障害、子育て支援の相談施設もある開放型の施設。子どもたちの明るい未来づくりの貢献に期待。

#### ② 学研都市スマートライフ共創工房

世界の高齢社会の先頭をいく日本がリードする研究施設として北九州市と九州工業大学、協働で2014に開設。認知症、パーキンソン病、障害者などの支援をするAIを活用した「介護ロボット」を開発中。

(柴田智弘教授 談)



「プロトタイプ開発ゾーン」と「体験・評価ゾーン」で実際に体験したりして研修。近未来の生活に触れた。(報告:香月)



# たかす地域のつながりづくり

## 第23回 たかす年長者のおまつり

令和6年度の「たかす年長者のおまつり」(10月13日(日)10:00~12:30 高須小体育館で開催)に280名超の参加者が交流。**たかす太鼓、たかす音頭、シニアのパワー演技、子どもたちのお琴演奏やダンス、全国マーチングバンド大会で金賞に輝く高須中吹奏楽部の演奏で盛り上がりました。**

主催した香月高須地区社協会長は、『23回目のたかす年長者のおまつりは、社協関係と地域各団体や施設、学校のご理解、ご協力のチームワークの結晶です。高須は人口8,300人中、3,000人(2.7人に1人)が高齢の地域。「経験と知恵」を若い世代に伝える必要があります。**「高須全体が大きな一つの家族」**です。

今年のテーマは、「**高須地域のつながりづくり**」。今回の交流のなかで、高須の歴史の一端を振り返り、未来につなぐイベントとして、三世代が笑顔で集うまちづくりの要となりました。』と感想を語った。



(高須地区40年の歴史: たかす太鼓&音頭)



若い力: 未来へ

総勢70名の  
高須中吹奏楽部



MIX DROP!?

(報告: 山本直子)



シニアの演技: 施設訪問グループ  
・高須BBC ・オカリナサロン「フェリーチェ」

### 高須のまちに流れるメロディーに思う

山口 保浩 (高須社協 副会長)

毎日、お昼12時にベートーヴェン作曲「エリーゼのために」、夕方5時に童謡「ふるさと」、6時に「夕焼け小焼け」のメロディーが高須南の集会所から高須のまちに流れます。

このメロディーは高須に子どもがたくさんいた頃、子ども達に「お昼になりましたよ」、「夕方になりました、お家に帰る時間ですよ」と時を知らせるために流し始めたそうです。以来、現在まで長い間放送を続けていただき、高須を情緒ある、なつかしさ・やさしさを感じるまちにしてくれています。所用で数日間高須を離れ帰ってきた際に、流れるこのメロディーを聞くと安心して、ほっとした気持ちになります。

今後、さらに高須のまちは高齢者のみの家が年々増えます。一日を平々凡々と家の中で過ごすことが多い高齢者が、このメロディーに耳を傾けて、今日も「平穏だなー!」と感じる時間になればと思います。

最後に、この放送を長く続けて下さっている第35区自治会の方にお礼を申し上げます。ありがとうございます。



### 夏休みのラジオ体操に子ども達も参加!

北班 福祉協力員 佐藤郁子

7/22~8/9の15日間、朝7時から高須北2丁目公園で、10名前後の子ども達が、シニアの方々に混じってラジオ体操に参加しました。可愛い子ども達が体操する姿を見て、大人はより真剣に体操したり、癒やされたり、終わると子ども達は、皆で鬼ごっこ。朝の涼しい時間に学年は違っても仲良く遊ぶ仲間になっていました。ラジオ体操はいいことづくめです!



また、8/5には、警察OBの畠中百合信さんによる自転車乗り方指導がありました。



交差点での正しい通行方法や、停止時の手の挙げ方などを実技でしっかり学びました。ご褒美は、社協からの文具と北班からのお菓子。子どもは地域にとっても宝物。来年はもっとたくさんのお子さんが参加しますよう、ご家庭の協力をお願い致します。

## 地域の居場所 サロン活動

### 園児さんと交流!! 高須保育園を訪問

笑顔いきいき夢サロン(南1・2・5)

10月17日(木)11時から13時迄、16名で訪問しました。

園児さんの元気一杯の遊戯や歌、私達も「夕焼けこやけ」「もみじ」を歌い、一緒にゲームも楽しみました。



昼食会ではお話が弾み、最後は手づくりの花束を一人ずつ「長生きして下さい!」と手渡され、元気づけられました。あっ!という間の楽しい時間でした。この交流は、高須保

育園さんも楽しみにされており、毎年秋の恒例行事になっています。私達も心弾んで!出かけます。

来年も訪問できるよう元気で居たいと思っています。

(報告: 南班 香月利都子)



### 東のホームサロンで「冬の養生」

S宅の居間での11月のホームサロンでは、インフルエンザ要注意!コロナワクチン接種、防犯が話題。冬の養生では「冷えて10歳老化」など体を温め動かす太極拳ストレッチ体操をおこなったあと、抹茶と善哉で心ほかほか!皆さんの日常の話題で盛り上がりしました。(東班長 友田和子)



### サロンに参加して 西1丁目 徳永妙子

40年近く暮らしておりました粕屋郡の地から、此処高須西地区に引っ越してきました。当初は生活環境にも慣れず、不安な日々を過ごしておりました折、ご近所の方々に親切にお声をかけて頂き、10月には、「年長者のおまつり」に行き、異世代各々の発表に目を見張り、特に中学生ブラスバンド部の演奏には身も心も弾み感動しました。又、参加させて頂いた「ふれあいサロン」では、身近な防災の話し合いや紙芝居、笑顔いっぱいの館外会食、月1度の公園の清掃作業等、役員さんの行き届いた先導の元、皆さんが「元気に」「明るく」「楽しく」活動される姿に心温まる思いでした。又、登下校時に逢う小学生の皆さんも、とっても気持ち良く挨拶を交わして下さり、本当に素晴らしい地域にご縁を頂いたと日々感謝しております。ありがとうございます。

### 団塊の世代が高齢者になる2025年問題を考える!

民生委員・社協 藤木憲次

2025年問題とは、戦後第一次ベビーブームに生まれた団塊の世代が後期高齢者になることで、構造人口の変化に伴う社会保障、労働力、経済全般への影響に関する問題を云います。団塊の世代(1947~1949生)が、2025年には全員が75歳以上となり、五人に一人が後期高齢者と云う超高齢化時代に突入。この高齢化の進展で、医療や介護の負担が一層重くなることは勿論、認知症、孤立化、慢性疾患等により、自宅に籠もってしまう高齢者が益々増加し、これらの**高齢者を狙った特殊詐欺や強盗犯罪が近年多発しています**。特に関東圏に端を発する高齢者を対象にした闇バイト関連の押し込み強盗が新聞・TV等で報道されているのはご存じの通りです。**高須地区でも介護宅に派遣介護員を装った二人組の男が自宅内の様子を伺って帰ったそうです**。その後訪問したヘルパーさんが警察に連絡をし事なきを得たとのこと。これ以外にも**11月に入って類似事件が数件報告されており、被害に合わぬ備えが急務です**。

先日の「認知症理解のための集い」で紹介された

「スマホでSOS体制」がLINEで実行拡散中!

今後、不審者を見たり聞いたり身の危険を感じたら、警察や行政に連絡するのは勿論ですが、**地域の生活支援相談員や福祉協力員など周囲との情報共有を図りお互い見守り合いましょう**。

### 11月のサロンは「魚庵千畳敷」で

西班 福祉協力員 田代 香

高須西の年長者いこいの家でサロンをスタートさせて、早13年。あっという間の気がします。たまには、参加の皆様が喜ばれるなら、「外で、皆で食事に行きませんか?」と声かけしました所、皆様大喜びでした。そこで、送迎付で魚庵千畳敷へ行きました。

参加者21名、その中には、97歳の高齢者もおられ、福祉協力員に支えられて楽しそうに参加して頂きました。会食中は、あちこちで談笑の輪が!!何年ぶ



りかの外食の方もおられ、楽しい笑顔に私達福祉協力員も嬉しい1日でした。